

名前： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

/ 100点 目安： 15分

## 学習のポイント

- 度数分布表から階級と度数の意味を理解し、正確に読み取る
- 代表値（平均値・中央値・最頻値）の求め方と意味の違いを区別しよう
- 実際のデータから度数分布表を作成し、データの分布を理解しよう

## 1 度数分布表の読み取り

14～15点

- 1 以下の度数分布表において、階級 20以上30未満の度数は \_\_\_\_\_ である。

15点

階級 (点)	10～ 20	20～ 30	30～ 40	40～ 50
度数 (人)	5	8	6	4

- 2 上記の度数分布表における、全体の度数の合計は \_\_\_\_\_ 人である。

15点

- 3 以下の度数分布表で、度数が最も多い階級（最頻値が含まれる階級）は \_\_\_\_\_ である。

14点

階級 (cm)	150～ 155	155～ 160	160～ 165	165～ 170
度数 (人)	3	12	9	6

## 3 資料の分析と文章問題

各14点

- 4 あるクラス30人の通学時間（分）を調べて度数分布表にしたところ、以下の通りになった。全体の人数が30人のとき、階級 10以上20未満の相対度数を求めなさい。

14点

階級（分）	0～10	10～20	20～30	30～40
度数（人）	6	12	8	4

- 5 テストの成績が、A組の平均点75点、B組の平均点73点であった。同じ平均点でも、A組のデータが15, 25, 75, 75, 85, 100（点）、B組のデータが70, 71, 72, 75, 76, 77（点）のとき、データの散らばりが小さいのはどちらか。理由を含めて答えなさい。

14点

## 4 選択問題

各14点

- 6 度数分布表において、相対度数の合計は必ずいくつになるか。

14点

ア. 0.5

イ. 1.0

ウ. 10

エ. 100

- 7 階級幅5の度数分布表で、度数が4, 8, 12, 6である。最頻値が含まれる階級の相対度数として最も大きいものはどれか。

14点

ア. 0.2

イ. 0.3

ウ. 0.4

エ. 0.5